

5 各部の計画

I 教務部

1. 目 標

本校の教育目標、教育方針にそった教育活動が円滑に行われるよう全職員の共通の理解と協力体制の確立をめざす。

2. 方 針

(1) 教育活動の効率化について

- ①年間行事の適正化をはかる。
- ②授業時間確保につとめる。
- ③各部、各教科との連絡調整につとめる。
- ④地域、保護者との連携を密にする
- ⑤校内研修の充実につとめる。

(2) 校務処理について

- ①職員会議の効率的な運営につとめる。
- ②諸会合の定刻開会及び定刻閉会を励行する。
- ③利用しやすいように、諸公簿・書類などの整理保管につとめる。
- ④諸公簿、書類などの提出と点検を徹底する。

(3) 教育課程について

- ①教育課程の研究につとめる。

(4) コンピュータの利用推進について

- ①進路支援システムの円滑な運用につとめる。
- ②校内LANの円滑な運用につとめる。
- ③学校ホームページを公開することにより本校をPRする。

II 生徒指導部

1. 目 標

- (1) 生徒の基本的生活習慣の確立をめざして、主体的に改善する態度を養いさらに集団として組織的(学級、生徒会)に生徒自身の問題を自らの手で克服し規律ある生活集団を育成する。
- (2) 生徒が自己認識を深め、人格や行動の欠点を克服できるように指導する。
- (3) 社会的存在としての、協調性や連帯感を養わせると同時に望ましい人間関係を確立する態度を養わせる。
- (4) 安全教育を推進し特に交通安全についての意識の高揚をはかる。

2. 方 針

(1) 基本的生活習慣の確立

服装容儀を正し、礼節を守り、時間や約束を守り自主的に行動できる生活習慣の確立。

(2) 集団活動の規律化

規律ある集団活動の中で社会的自己を形成させる。

(3) 交通安全指導

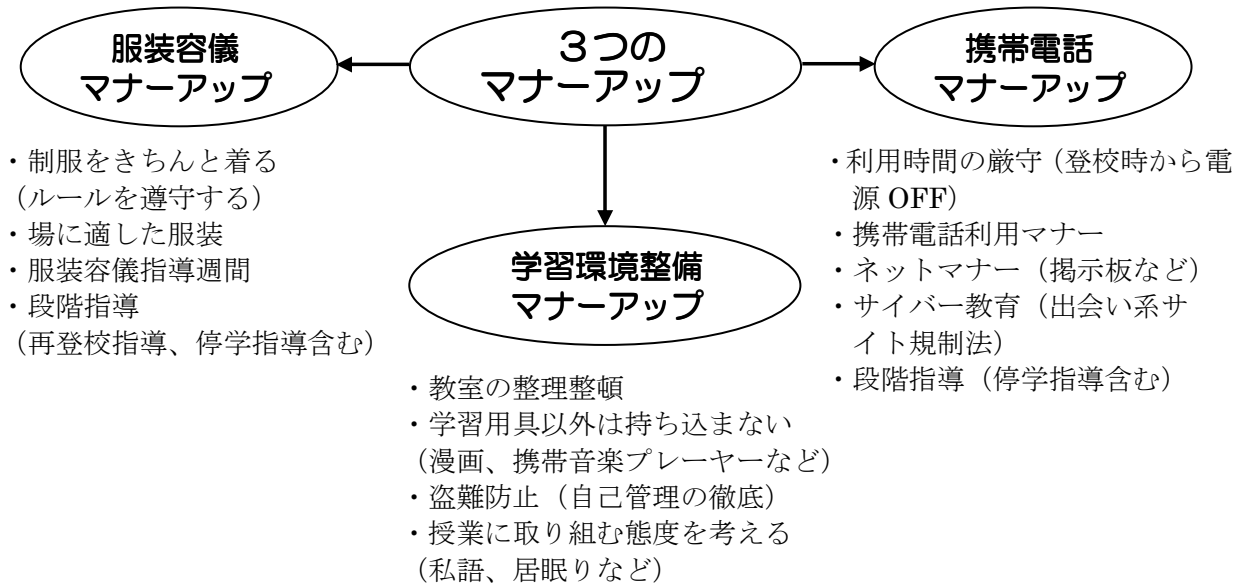
交通安全指導を徹底し、生徒の通学の安全を確保すると同時に、安全に対する自立的生活態度の育成をはかる。

3. 指導の具体化

※全職員共通理解の上で指導を行う。

(1) 生活

① 3つのマナーアップ



(2) 安全

①交通安全指導

- ア. 自転車の整備点検・乗り方などの交通安全指導を行う。
- イ. 交通安全運動期間中の交通安全指導。
- ウ. 免許取得希望者、免許取得者の調査を行い、取得者への安全指導の徹底。

②危機管理意識の涵養

- ア. 盗難被害の予防 (危機管理講習)。

4. 生徒会の指導方針

- (1) 生徒の自治能力を養成し、その自主的、積極的活動により、学校内外における生活態度の向上をはかる。
- (2) 生徒会の目的達成のために、諸機関に於いて定めた事項を遵守するよう指導する。
- (3) 生徒会の基礎集団である各HRの声を最大限尊重し、行事などに反映させる。そのために生徒評議委員会の定例化につとめる。
- (4) 執行部、各種専門委員会、各クラスを体系的につなぎ、生徒会の活性化をはかる。また、職員の各係との連携をはかる。

《主な生徒会行事》

4月	対面式・部紹介	9月	学園祭 (後夜祭)
5月	新入生歓迎球技大会 生徒総会 高校総体激励式	10月	新人大会激励式
6月	野球部激励式 生徒会長選挙 生徒会役員任命式	2月	3年生を送る会
		3月	卒業式 (生徒会セレモニー)

Ⅲ 進路指導部

1. 目 標

生徒の実態を把握し、個々の能力の向上をはかるとともに適性に応じた進路選択が自主的にできるように指導する。

2. 方 針

- (1) 将来の目標をはっきりさせ、計画的学習習慣の定着を図る。
- (2) 進路目標を明確化し、実現できるよう支援する。
- (3) 目標達成に資するため、情報を収集し資料を提供する。
- (4) HR担任との連携を深め、HRにおける進路指導を充実させ学習意欲の高揚につとめる。
- (5) 各学年における努力目標
 - 1 学年……早めに高校生活に慣れ、高校生活の意義を考え進路への関心を高める。
 - 2 学年……あらゆる角度から自己理解を深め、種々の情報を的確につかみ進路目標を決定する。
 - 3 学年……決定した進路の目標に向かって努力し、その実力を養い、目標の実現を図る。

3. 昨年度平成 29 年 3 月卒業者の合格状況(3 月 31 日現在)

	A O		推 薦		一 般		合 計		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計
琉球大学	3	1	9	4	10	1	22	6	28
県立看護大学							0	0	0
県立芸術大学							0	0	0
名桜大学	0	1	9	7	1	1	10	9	19
沖縄国際大学	1	4	9	20	8	2	18	26	44
沖縄大学	1		1	2		2	2	4	6
沖縄キリスト教学院大学	1	3	1	2			2	5	7
(県 内 大 学 計)	6	9	29	35	19	6	54	50	104
沖縄女子短期大学		2					0	2	2
沖縄キリスト教短期大学		5					0	5	5
大学校			1			1	1	1	2
(県 内 短 大 計)	0	7	1	0	0	1	1	8	9
県内医療系専門	2	5	5	10	2	6	9	21	30
県内訓練校							0	0	0
その他専門学校			10	15	12	9	22	24	46
(県 内 専 門 計)	2	5	15	25	14	15	31	45	76
≪ 県 内 進 学 小 計	8	21	45	60	33	22	86	103	189
県外国公立大学			5	2	3	2	8	4	12
県外私立大学	3	5	12	16	1	2	16	23	39
(県 外 大 学 計)	3	5	17	18	4	4	24	27	51
県外国公立短大							0	0	0
県外私立短大		1		2		1	0	4	4
大学校							0	0	0
(県 外 短 大 計)	0	1	0	2	0	1	0	4	4
県外医療系専門		1	1	3	1	1	2	5	7
その他専門学校	5	3	1	2	3		9	5	14
(県 外 専 門 計)	5	4	2	5	4	1	11	10	21
≪ 県 外 進 学 小 計	8	10	19	25	8	6	35	41	76
進 学 総 計	16	31	64	85	41	28	121	144	265
県内就職			1	2	2	1	3	3	6
県外就職							0	0	0
就 職 総 計	0	0	1	2	2	1	3	3	6
留 学							2		2
総 計	16	31	65	87	43	29	124	147	273

進路決定率 85.8%

4. 進路行事 年間計画

月	行 事	月	行 事
	第1回実力テスト・進路希望調査（全学年） 進路ガイダンス（全担任） 課外講座開始（全学年） 第1回全統マーク模試（3年特進必修）	9	第2回実力テスト・進路調査（全学年） 進路講話Ⅱ（3学年面接指導） 第1回ベネッセ駿台マーク模試 （3年特進必修）
5	三者面談進路資料作成・配布 東進第2回センター本番レベル模試(3年希望者) ふれあい看護体験 北部看護学校体験入学 第1回就職希望者説明会 進路講話Ⅰ(全学年) 第1回進路研修会（職員） 特進クラス合同保護者説明会	10	東進全国統一テスト（3年特進必修） 第2回ベネッセ・駿台記述(3年希望)
6	進学ガイダンス（2，3年） 小論文模試（3年必修） 総合学力ベネッセマーク模試（3年特進必修） 教育実習生との進路懇談会	11	総合学力テスト 11月ベネッセ記述模試 （1・2年特進必修） 国公立推薦入試出願開始 第3回ベネッセ駿台マーク模試（3年特進必修） 河合センター試験プレテスト（3年希望）
7	次年度特進クラス選抜希望調査・申込 小論文添削指導受付・開始 総合学力テスト7月記述模試 （1・2年特進必修） 推薦委員会（7月～2月） 東進第3回センター本番レベル模試（3年特進必修） 面接アクションプログラム開始 琉球大学オープンキャンパス 夏期講座開始（～8月）	12	大進研センターファイナル(3年希望) 東進センターレベル模試（3年希望） センター直前大晦日模試(3年希望)
		1	センター試験 センター試験自己採点会 センター同日体験（2年特進必修） 総合学力テスト1月ベネッセ記述模試 （1年特進必修） 国立2次・私大等対策講座
	夏期講座 東進第4回センター本番レベル模試(3年希望者)	2	ベネッセセンター早期対策模擬試験 （2年特進必修） 私立大学一般入試 国公立大学前期日程
		3	国公立大学後期日程 進路講話Ⅲ合格体験談（1・2年）

IV 図書・視聴覚部

1. 図書館

(1) 努力目標

- ① 図書館資料の充実と活用を図る。
- ② 図書館利用のマナーの向上を図る。
- ③ 各教科と連携を密にし、図書館利用による学習活動の充実を図る。
- ④ 図書委員会活動の充実を図る。
- ⑤ 生徒作品集「梅檀」の充実を図る。
- ⑥ 図書の返却指導の徹底。
- ⑦ 図書館環境の整備と充実。

(2) 本年度の主な行事

4月	貸出開始 新入生オリエンテーション 図書委員会発足	9月	読書感想文・感想画コンクール
		11月	読書週間
5月	購入希望図書調査 図書委員会校外研修	12月	生徒作品集「梅檀」編集作業 読書感想文感想画表彰
6月	6. 23 資料展	2月	「梅檀」発行
8月	館内整備	3月	蔵書点検

2. 視聴覚

(1) 努力目標

- ① 視聴覚機器、放送施設の整備・充実
- ② 視聴覚教室の利用促進
- ③ 視聴覚教材の管理
- ④ 視聴覚教室利用マナーの向上を図る

(2) 本年度の主な行事

- ① 6.23 平和特設授業
- ② 芸術鑑賞会

V 美化・保健部

1. 目 標

学校生活が健康で安全に営めるよう、生徒・職員の健康の保持増進と、学校教育が円滑に進められるように学習環境の整備に努める。

2. 美化施設係

(1) 努力目標

校舎内外の環境と施設・設備の整備充実を図り、環境美化の保持増進に努める態度の育成と、公共施設を大切にする愛護精神を高め、花と緑に囲まれた学校作りを目指す。

(2) 方 針

学校の緑化・環境美化は全生徒・職員で取り組む。

(3) 主な取組み

- ① 教室内外の清掃の徹底。
 - ア. 全体清掃（学期毎に1回、計3回）
 - イ. ワックス掛け
- ② ゴミの分別徹底。
- ③ 美化委員会活動の活発化。
- ④ 緑化地帯の維持・管理と緑化計画。

- ⑤公共施設に対する愛護精神の育成。
- ⑥施設・設備に関する調査。
- ⑦節電・節水・戸締り協力呼びかけ。

3. 保健係

(1) 努力目標

校内組織との連携により、学校保健活動の活性化を図り、健康安全に対する意識の高揚と学校生活が円滑に行われることをめざす。

(2) 方針

- ①心身の健康管理の充実に努める。
- ②学校保健・学校安全の充実に努める。
- ③個に応じた健康相談活動の充実と支援体制の確立に努める。
- ④多様な生徒への対応と学習支援の充実に努める。
- ⑤新たな健康課題の解決に向け、地域社会と連携し、保健指導の実践化を促進する。

4. 教育相談

(1) 基本方針

- ①教育相談をあらゆる教育活動の中に生かし、生徒を理解するように努める。
- ②暖かい人間的なかかわりを常に保つと同時にお互いに秘密と約束を守るようにする。
- ③生徒の自発性と自主性を尊重し、自己解決能力を育む。
- ④効果的なカウンセリングが出来るよう職員の連携を密にする。
- ⑤全職員がカウンセリングマインドを持って相談の任にあたる。

(2) 活動計画

- ①生徒や職員に気軽に相談室を使ってもらおう。
- ②カウンセリングに関する資料を生徒職員に提供する。
- ③校内カウンセリング研修会など職員向けの研修を行う。

VI 事務部

1. 努力目標

- (1) 光熱水費（電気・水道）の節約推進と、予算の効率的・経済的・有効的活用。
- (2) 安全・快適な教育環境の推進とサポート。
- (3) 各分掌業務のスキルアップ。

2. 具体的活動方針

(1) について

- ①職員・生徒が一体となって不使用箇所の節電・節水を心がけ、学校全体で計画的・継続的に取り組むたい。これは、需用費やエネルギー資源の節約だけでなく、地球環境の保護につながる重要な課題として取り組むたい。
- ②予算執行は最小の予算で最大の効果を得られるよう創意工夫に努める。

(2) について

- ①施設・設備の安全点検を定期的実施し、危険箇所・修繕箇所の迅速な把握と対応に努める。
- ②部室やプールの改築・改修について、学校の総体的・具体的基本プランを策定する。

(3) について

- ①各種研修会に積極的に参加し自己研鑽に努めると共に、伝達講習・情報の共有化を図り、報告・連絡・相談体制を確立する。
- ②法令・規則をよく遵守し、常に新情報の取得に努める。